

令和元年度

阿木 第6分団



たから・たんけん



お宝探検

ウォーキング



令和元年11月9日

主催：青少年健全育成市民会議阿木支部

※小学生が阿木のお宝（史跡）をめぐる三世代交流のイベントです。

協力

6分団の皆さん、阿木地区老人クラブ連合会、阿木体育協会生涯学習スポーツ部、阿木歴史教室、阿木区長会、阿木保育園、阿木小学校、阿木中学校、保育園保護者会、小・中学校PTA、阿木高等学校、阿木体育協会、阿木更生保護女性会、社会福祉協議会阿木支部、阿木地区民生委員・児童委員協議会、村づくり塾、地域安全指導員、消防団阿木分団、阿木城跡保存会、阿木公民館

も く じ

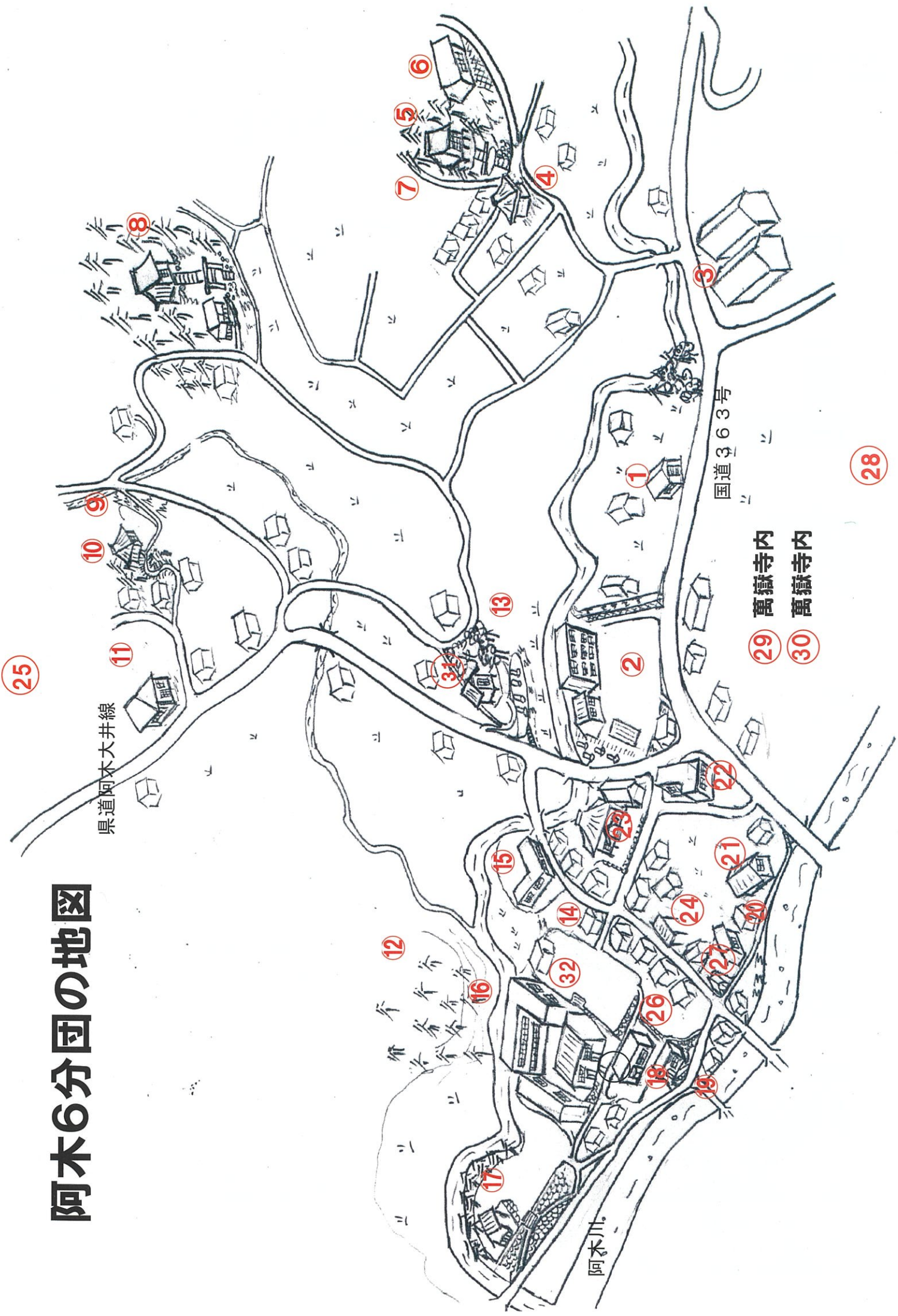
阿木6分団の史跡などの紹介

1. 消防団3部詰め所
2. 中津川市立阿木小学校
3. 東美濃農協ライスセンター
4. 藤上弘法堂
5. 藤上神社
6. 藤上クラブ
7. 四十八夜念仏供養群 (藤上)
8. 熊野神社
9. 薬師堂
10. 四十八夜念仏供養群 (野内)
11. 野内クラブ
12. 金山神社
13. 秋葉三尺坊大権現 (通称秋葉様)
14. 本庄クラブ
15. 阿木保育園 阿木公会堂跡
16. 中津川市立阿木高等学校
17. 阿木護国神社
18. 東美濃農協阿木支店
19. 旧阿木川橋
20. 役行者
21. 寺領クラブ
22. 阿木公民館
23. 賀雲山萬嶽寺 (曹洞宗)
24. 阿木郵便局
25. 野内秋葉三尺坊
26. 阿木地域振興センター
27. 阿木発電所跡
28. 馬頭観音
29. 馬頭観世音菩薩
30. 聖観世音菩薩
31. 秋葉様の馬頭観音
32. 阿木高校ビニールハウス

参考資料

野内新湯水路 (野内水路)

阿木6分団の地図



25

県道阿木大井線

国道363号

阿木川

29 萬嶽寺内

30 萬嶽寺内

28

【阿木6分団】史跡などの紹介

	<p>1 しょうぼうだん ぶ つ め しよ 消 防 団3部詰め所</p> <p>たいしやう ねんあぎむらこうせつしょうぼうぐみそうせつ しょうわ ねんあぎむらしょうねんしょうぼうけせい しょうわ 大 正 9 年阿木村公設消防組創設。昭和8年阿木村少年消防結成。昭和14 ねんあぎむらけいぼうだん ほっそく とうじ だんいん めい しょうわ ねんいこう 年阿木村警防団が発足、当時の団員は 232名であった。昭和22年以降 じちしょうぼう じだい しょうぼうだんき せいてい しょうわ ねんあがつわし 自治消防の時代となり、消防団旗が制定された。昭和32年中津川市に がっぺい なかつがわししょうぼうだんあぎぶんだん あぎぶんだん ぶせい だんいん 合併し、中津川市消防団阿木分団となる。阿木分団は 4部制で団員100 めい そうび じどうしゃポンプ 2たい かはん ポンプ 2たいであった。しょうわ ねん 名、装備は、自動車ポンプ 2台、可搬ポンプ 2台であった。昭和61年 あぎしょうぼうだんほんぶつめしよ ぶつめしよ きぐこへいせつ かんせい へいせい ねん がつ 阿木消防団本部詰所・3部詰所・器具庫併設で完成。(平成10年4月3 ぶさいへんせい へいせい ねん がつ ぶつめしよかんせい) 部再編成、平成10年10月1部詰所完成)</p>
	<p>2 なかつがわしりつあぎしょうがっこう 中津川市立阿木小学校</p> <p>てらこや かしょ めいじ ねんけいちやうぎこう ぼんがくじ しんぶうぎこう ぜんりんじ めいじ 寺子屋9ヶ所、明治6年稽徴義校(萬嶽寺)・新風義校(禅林寺)、明治10 ねんあぎがっこう めいじ ねんひろおか いいぬまがっこう めいじ ねん あぎ じんじやう かんい 年阿木学校、明治14年広岡・飯沼学校、明治19年阿木尋常簡易 しょうがっこう いいぬま ひろおかんいしょうがっこう めいじ ねんいぬま ひろおかとうひろおかぶんきやうじよ 小学校・飯沼・広岡簡易小学校、明治30年飯沼・広岡統合広岡分教所 めいじ ねん あ ぎ じんじやうこうとうしょうがっこう しょうわ ねん あ ぎ こくみんがっこう しょうわ ねん 明治33年阿木尋常高等小学校、昭和16年阿木国民学校、昭和22年 あぎしょうがっこう しんせいちやうがっこう しょうわ ねん あ ぎ ちやうがっこうしんちく しょうわ 阿木小学校・新制中学校できる、昭和24年阿木中学校新築、昭和37 ねんひろおかぶんこうとう ねん あ ぎ ちやうがっこう とう とう ころ しょうわ ねん 年広岡分校統合、むかしは阿木高校の所にあつたが、校舎が古くな ったので、しょうわ ねんいま ばしよ うつ うんどうじやう せいち じえいたい 昭和39年今の場所に移つた。運動場の整地には、自衛隊 おこな が行つた。</p>
	<p>3 ひがしみののうきやう 東美濃農協ライスセンター</p> <p>にうけ かんそう もみすり せんべつ しゆつか だんかい おこな もみの荷受から乾燥・もみすり・選別・出荷という 4段階に行 しゆかくしせつ う 収 穫 施設である。 しょうわ ねん あ ぎ かんせい しょうわ ねんぞうちく 昭和50年阿木ライスセンター完成する。昭和55年増築。</p>
	<p>4 ふじあげこうぼうどう 藤上弘法堂</p> <p>たいしやう ねんふじあげじんじや おおすぎばつさい ききだち げんざいち いちく 大正8年藤上神社の大杉伐採に先立ち、現在地に移築された い といわれています。しょうわ ねん がつ じゆみん ちゆうしん 昭和58年12月に住民が中心となり茅葺屋根 ふ か おこな こうぼうさま かのんさま こさず かのんさま の葺き替えが行われました。弘法様、観音様(子授けの観音様 い といわれている)が祀られています。</p>



5 ふじあげじんじゃ
藤上神社

寛永5年11月(1628年)創建。祭神は天御中主神(宇宙創成の根本をつくられた神様)です。境内神社二社には熊野神社(速玉男神)と白山神社(菊理比姫神)で、地域の名前のついた神社は珍しい。
 神社前に夫婦杉があり、樹齢370年といわれていましたが、落雷にあい枯れてきたので、大正9年に伐採されました。



6 ふじあげ
藤上クラブ

藤上神社境内にあったが、平成15年12月に竣工した。



7 しじゅうはちやねんぶつくようぐん ふじあげ
四十八夜念仏供養群 (藤上)

阿木の各地にある四十八夜念仏供養塔。むかしは、神社と同じ場所にあったが、明治の初め神佛分離令によって、ここに移された。寺領はお墓のそばに積まれている。野内は薬師堂に有る。



8 くまのじんじゃ
熊野神社

慶安4年11月(1651年)創建。祭神は速玉男神です。境内神社は白山神社、白髭神社、稲荷神社、金刀比羅神社、くまのじんじゃ熊野神社の四社です。



9 やくしどう 薬師堂

きよほ ねん ねん ほんどうそうけん やくしにょらいぞう あんち
享保5年(1720年)本堂創建。薬師如来像が安置されています。
ぶんか ねん ねん やくしどう さいけん へいせい ねん ねん ほんどう
文化11年(1814年)薬師堂を再建し、平成4年(1992年)本堂と
なむとうほうやくしるりこうにょらいぞう しゅうふく
南無東方薬師瑠璃光如来像を修復しました。
どう しゅうい やねんぶつくようせきぶつぐん
堂の周囲に四十八夜念仏供養石仏群があります。



10 しじゅうはちやねんぶつくようぐん のうち 四十八夜念仏供養群 (野内)

あみだ しじゅうはちねが ちな しじゅうはちや あいだ ねんぶつ とな
阿弥陀の四十八願い因んで四十八夜の間、念仏を唱え、または
じょうどさんぶきょう こうせつ ぎょうじ こうじえん よき
浄土三部経を講説する行事。(広辞苑より)90余基。
のうち むしおく にんぎょう つく ばしよ むしおく ぎょうじ きゆう がつ10か
野内の虫送りの人形を作る場所。虫送りの行事は旧6月10日に
おこ ひやくまんべん とな
行われ、百万遍(なんまいだんぼと唱える)。



11 のうち 野内クラブ

のうちぐみ やくしどう しよう しょうわ ねんけんせつ しょうわ ねん
野内組は、薬師堂を使用していたが、昭和11年建設、昭和59年
けんどうあぎおおいせんかいりょう ひ やいてんけんせつ
県道阿木大井線改良のため、曳き家移転建設。



12 かなやまじんじゃ 金山神社

そうりつねんげつふしよう さいしんかなやまひこのかみ まつしや しんめいじんじゃ あまてらすこうだいじん
創立年月不詳 祭神金山彦神 末社 神明神社 天照皇大神
かね かみさま
お金をもうけさせてくれる神様。



13 あきばさんじゃくぼうだいごんげん つうしょうあきばさま
秋葉三尺坊大権現（通称秋葉様）

あぎ こうかいどう とき たいしょう ねん おお たてもの かじ
阿木に公会堂ができた時（大正3年）、大きな建物が火事になら
ないようにと、ひよ ほとけさま あきばさんじゃくぼうだいごんげん ほんざん
火除けの佛様、秋葉三尺坊大権現を本山から迎
えた。そのまえ ほんがくじ まつじ あきばさま
前は万嶽寺の末寺の秋葉様があった。



14 ほんじょう
本庄クラブ

へいせい ねん ねん みんか しょう しんちく
平成13年まで民家を使用していたが、新築される。



15 あぎほいくえん あぎこうかいどうあと
阿木保育園 阿木公会堂跡

しょうわ ねんきせつほいくえんはじ しょうわ ねんへきちほいくえんはじ しょうわ
昭和35年季節保育園始まる。昭和37年僻地保育園始まる。昭和58
ねんいま ちいきしんこう ところ こうかいどう
年今の地域振興センターの所にあつたが、公会堂がこわされ
て、いま ばしょ うつ ぶたい ぶんせい ねんひろおか おおのぶたい ぶんせい ねん
今の場所に移った。舞台 文政1年広岡・大野舞台、文政2年
いぬましんめいじんじゃぶたい ぶんせい ねん みざわはちまんじんじゃぶたい ぶんせい
飯沼神明神社舞台、文政3年見沢八幡神社舞台、文政5
ねんあぎぶたいむねあげ あんせい ねんみざわぶたい とりこわし あぎざけんせつはじ
年阿木舞台棟上、安政6年見沢舞台を取壊し安岐座建設始まる、
まんえん ねんあぎざかんせい たいしょう ねん あぎ こうかいどう しょうわ ねん
万延1年安岐座完成、大正3年阿木公会堂となる。昭和18年
ぐんじゆこうじょう しょうわ ねんこうかいどうとりこわ
軍需工場となる。昭和57年公会堂取壊し。



16 なかつがわしりつ あぎこうとうがっこう
中津川市立阿木高等学校

しょうわ ねんせいねんがっこうはじ しょうわ ねんあぎこうとうがっこうていじせいかいこう
昭和10年青年学校始まる。昭和24年阿木高等学校定時制開校さ
る。こうしゃ うえ おんしつ ところ せいねんがっこう つか
校舎は、上の温室の所にあつた青年学校を使っていた。



17 あぎごこくじんじや 阿木護国神社

東京九段の靖国神社と同じで、旧阿木村出身の戦没者が
(西南の役以来) 212柱の御霊が祀っております。

この神社は昭和49年に建立されたもので、それ以前は現橋
場クラブに「記念碑」があり、出征兵をここから送りました。



18 ひがしみののうきょうあぎしてん 東美濃農協阿木支店

大正13年阿木信用組合設立される。昭和9年阿木村農業倉庫竣工。

昭和10年阿木信用購買販売利用組合竣工、昭和23年阿木村農業
協同組合発足、昭和36年阿木有線放送阿木農業協同組合に開局。

昭和45年阿木農協給油所竣工、昭和50年中津川市農協に合併、昭和
59年中津川市農協阿木支店Aコープ完成、平成10年4月1日恵那北、恵那、
恵南、中津川市各農協合併し東美濃農協となる。



19 きゅうあぎがわばし 旧阿木川橋

昭和13年改修される。昭和32年の大水で橋の左側の部分がけず
り取られ、川幅が広がった。それまでの阿木川は、コンクリ
ートの橋の部分だけの川でした。



20 えんのぎょうじや 役行者

寺領から藤上に行く道にある。右は役の行者、左は馬頭観音で
旅人の安全を見守った。この道を拡張する時に二つの大岩の中
から馬頭観音が発見され一度は寺領のお墓に移設されたがまた
元の場所に戻された。



21

寺領クラブ

むかし、ここに十王堂という庵があり、中に弘法様が祭られていた。集会所を作った時弘法様を安置した。ここを念仏堂と呼んでいたが、今は集会所となっていて、阿弥陀如来様が祭られている。この建物は、組の皆が、山から木を切り出して作った。



22

阿木公民館

大正7年阿木村役場新設。大正10年役場に電話がひかれる。昭和26年現農協阿木支店の所にあった阿木村役場に阿木公民館を設置。昭和32年11月中津川市と合併、昭和46年今の所に阿木公民館建設、昭和48年阿木公民館に阿木支所移転しました。平成11年阿木コミュニティセンターとなりました。



23

賀雲山萬嶽寺 (曹洞宗)

天和年間（1620年前後）観室察公和尚賀雲院開創。慶安3年（1650年）岩村盛厳寺六世在天三龍和尚が萬嶽寺と名付けました。龍泉寺にあったと伝えられる馬頭観世音菩薩像は県指定、本尊の聖観世音菩薩像は市指定の文化財です。山門は230年前の建物で豊川閣は大正6年にご真像を安置し、鐘樓堂は昭和50年、位牌堂は平成元年に再建しました。寺室は大日如来像、延命地藏尊座像、青面金剛童子、十六羅漢、愛染明王、木版大般若経六百卷、地獄極楽絵図などです。



24

阿木郵便局

明治44年阿木郵便局ができる。大正11年電信事業始まる。大正15年電話通話始まる。昭和13年電話交換事務始まる。昭和47年に現在の所に建てられた。それまでは鷹見修也さんの家があった。平成15年4月1日に日本郵政公社となり、平成19年10月1日郵政民営化に伴い郵便局株式会社と郵便事業株式会社（日本郵便 5 阿木集配センター）へ移管・分割された。



25 野内秋葉三尺坊

明治頃、遠州（現在の静岡県）の秋葉山より迎えました。秋葉様は火除けの神様で、三尺（約1m）四方のお堂に祭られています。阿木の各地に秋葉神社がありますが、それだけ火事を恐れていたことを示しています。



26 阿木地域振興センター

昭和58年阿木川ダム公共補償で1階は阿木地域振興センター・2階は郷土館として建設された。今は診療所として一部使用されている。2階は倉庫となっている。診療所は、明治43年避病院事務所できる。昭和14年県立阿木診療所設立。



27 阿木発電所跡

大正7年阿木電気株式会社送電始まる。昭和9年村営となる。昭和17年中部配電株式会社へ譲渡される。水は梅ノ木淵より取水し、電気淵で沈砂をして、このトンネルを通して今の郵便局の駐車場の所が発電所。農協の前に排水口がある。



28 馬頭観音

馬頭観音は、道中安全と馬の供養のために建てられた。この馬頭観音は寺領組中と刻まれている。馬にまつわる何かがあったのではないのでしょうか。（馬のお墓、爪切り場、種付け場等）



29 馬頭観世音菩薩 (萬獄寺蔵)

むろまちじだい さく よせぎつく ぎよくがん さんもくさんめんはつび ざぞう ねの
室町時代の作で寄木造り、玉眼 三目三面八臂の坐像。根の
うえ てんだいしゅうりゅうせんじ ほんぞん つた しょうわ ねんぎふけん
上の天台宗龍泉寺の本尊と伝えられています。昭和42年岐阜県
じゅうようぶん かざい してい
重要文化財に指定されました。



30 聖観世音菩薩 (萬獄寺蔵)

ほんぞん しょうわ ねん なかつがわしぶんかざい してい
萬獄寺の本尊で昭和59年中津川市文化財に指定されました。
ぶつぞう うら とうのうえなごおり あぎむら ばんがくじだいでんほんぞん じかくたいしさく
仏像の裏に「東濃恵奈郡阿木村萬獄寺大殿本尊 慈覚大師作
しょうかんのんぞういちそん びしゅうのくにしゅんてい きふ ものなり げんじゅうたくどうそう これあんち
聖観音像壹尊 尾州国春尼寄附の者也 幻住澤堂 叟安置之
じ じほうえいがんまのえさるとししょうがつ にち
慈時宝永元甲申曆正月18日」とあります。



31 秋葉様の馬頭観音

あきばさま ちか ぼうかんのん おお たいへんめずら
秋葉様の近くにある馬頭観音、これほど大きいものは大変 珍し
い。

32 阿木高校ビニールハウス

阿木高校では、草花、野菜、果樹、お茶、お米の栽培からジャムやクッキーなどの食品加工の学習を行っています。草花では、花壇苗やシクラメン、シンビジウムの栽培に取り組んでいます。シンビジウムでは、植物バイオテクノロジーの技術を用い、苗から生産を行っています。



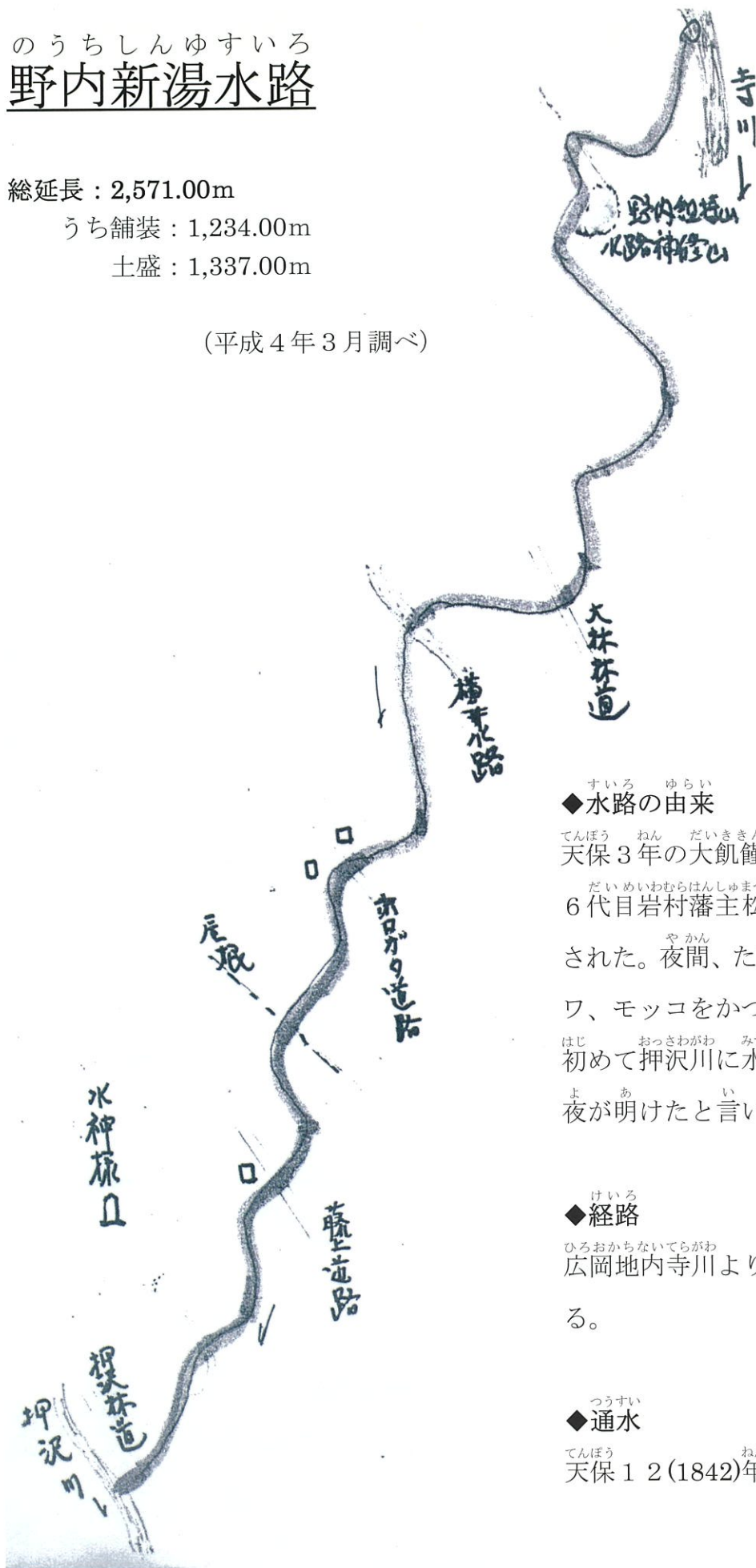
のうちしんゆすいろ 野内新湯水路

総延長：2,571.00m

うち舗装：1,234.00m

土盛：1,337.00m

(平成4年3月調べ)



◆水路の由来

天保3年の大飢饉により、野内地区で嘆願し、6代目岩村藩主松平乗喬の拜命により着手された。夜間、たいまつを灯して測量し、クワ、モッコをかついで水路を造った。初めて押沢川に水が流れ込んだ時は、野内に夜が明けたと言い伝えられている。

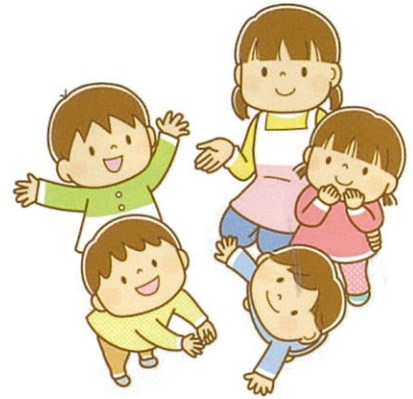
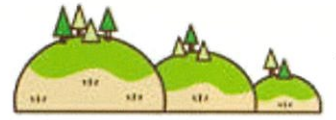
◆経路

広岡地内寺川より、牧野原を経て押沢川に入る。

◆通水

天保12(1842)年2月

6分団の秋の風景









メモ

Large rectangular area with horizontal dashed lines for writing notes.

※この『お宝探検ウォーキング・阿木6分団史跡資料集』で紹介しているのは一部の史跡です。この他にも様々な史跡があります。



せいさくきょうりょく
製作協力
ちずさくせい わたなべかずよし
地図作成 : 渡辺和義

しせきしょうかい ほんだたかほ
史跡紹介 : 本多敬穂

しゃんしりょう れきしきょうしつ
写真資料 : 歴史教室